

地域主権改革の断固実現を求める緊急声明

本日、鳩山総理大臣は、民主党両院議員総会で総理大臣辞任の意向を示された。総理は「もともと国が上で地域が下にある社会はおかしい。むしろ地域の方が主役になる日本にしていかなければならない。日本の政治は根底から変わる。地域の皆さんが思い通りの地域をつくることができる。」との思いを語られた。

この言葉に、地域主権改革の理念を強く感じるものであるが、現在、国会では地域主権関連3法案が審議中であり、また、今後の改革の具体的な道筋を示す地域主権戦略大綱（仮称）も今月末策定を目途に鋭意検討が進められている最中である。

我々は総理の辞任によって、地域主権改革の歩みが一刻も止まることがあってはならないと考えている。

それだけに、与野党ともに賛意を示している地域主権関連3法案の今国会成立はもとより、今後、政府与党は、新たな総理大臣の下、地域主権改革の実現に向け、全力をあげて、取り組みを進めることを強く求めるものである。

平成22年6月2日

近畿ブロック知事会

福井県知事	西川一誠
三重県知事	野呂昭彦
滋賀県知事	嘉田由紀子
京都府知事	山田啓二
大阪府知事	橋下徹
兵庫県知事	井戸敏三
奈良県知事	荒井正吾
和歌山県知事	仁坂吉伸
徳島県知事	飯泉嘉門
鳥取県知事	平井伸治